

チーム医療：NST 回診（栄養サポート委員会）

一科名変更履歴等一

2013年度(平成25年度)からNST回診(NST運営委員会)、2015年度(平成27年度)からNST回診(栄養サポート委員会)

一概要一

病院長より、患者の入院中の楽しみとして重要な位置を占める病院食について、「日本一美味しい病院食」を目指すよう依頼があり、当委員会の柱の一つとなっています。

また、外来レベルの「術前栄養サポート」も患者の体力維持、術後早期回復、在院日数短縮、費用削減のために重要と考えられ、当委員会の柱の一つとなっています。2020年度の総NST回診件数は、りんくう総合医療センター447件、泉州救命救急センター431件でした。

現在、栄養サポートチーム加算を算定できるようになっています。これには、保険医、看護師、薬剤師、管理栄養士それぞれが資格を有し、共同して診療を行うことが必要であり、栄養評価指標のための検査環境を整備し、患者説明の充実を果たし、患者と顔を合わせる回診内容を模索し、言語聴覚士等の協力を仰ぎ、各方面からの協力により成り立っています。2020年度は、合計401件の栄養サポートチーム加算を算定できました。

当院は日本静脈経腸栄養学会の栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設であり、NST専門療法士研修会は年2回実施していますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

また、当院は泉州地区NST研究会の代表世話人を務めています。さらに、日本静脈経腸栄養学会のNST専門療法士認定制度において泉州地区NST研究会が認定されており、参加することによって2単位を取得できるようになっています。2018年11月9日には第29回泉州地区NST研究会が行われましたが、第30回記念大会はコロナウイルス感染の影響で延期となりました。

院内ではNST勉強会を行い、栄養の基礎知識や最新情報の提供を行っています。栄養サポート委員会には、栄養アセスメントグループ、マニュアルグループ、セミナー学習会グループ、摂食・嚥下ワーキンググループが存在し、それぞれ真剣に取り組んでいます。

一研究業績数一

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和文原著、 総説、著書	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
国際学会報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国内学会報告	0	0	2	4	1	0	0	1	0	0	8
研究会・講演会	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
学術講演・講義	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
院内研究活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
座長	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
計	0	0	3	5	2	0	0	5	0	0	15

研究業績：チーム医療 NST回診（栄養サポート委員会）

平成25年度

(1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	消化器癌のサポートー栄養・緩和ケア・その他ー	飯干泰彦	第163回泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会	2014.1.9
2	腸管粘膜防御における粘液層の重要性	飯干泰彦	第18回泉州地区NST研究会	2014.3.1

(2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	アミノ酸の分子標的mTORシグナルを活性化するアミノ酸、ジペプチド	飯干泰彦 他	第50回日本外科代謝栄養学会	2013.7.4-5

平成26年度

(1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	静脈栄養時と新生児期の腸管バリアの変化ー粘液層の減少と腸管透過性の亢進ー	飯干泰彦 他	日本外科代謝栄養学会第51回学術集会	2014.7.4
2	長期静脈栄養におけるポート感染に地域医療連携下に対応した1例	左 信哲 他	第6回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会	2014.7.26
3	りんくうNST栄養サポートチームの現状	宇野妙子	第19回泉州地区NST研究会	2014.10.18
4	当院におけるNST栄養サポートチーム回診について～看護師の役割を中心に～	松本有希	第20回泉州地区NST研究会	2015.3.7

(2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	静脈栄養、経腸栄養と腸管のバリア	飯干泰彦	りんくう教育研修棟 医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士等	2015.3.7

平成27年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	低リン血症を呈した幼児十二指腸穿孔の1例	○正林大希 飯干泰彦 西谷暁子 宇治公美子 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会雑誌	51	1168-1172	2015

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	低リン血症を呈した幼児十二指腸穿孔の1例	○正林大希 飯干泰彦 西谷暁子 宇治公美子 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会学術集会(52)	ポスター	2015.5.28-30



平成30年度

(1) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	保存的治療を施行した膿瘍形成性虫垂炎の小児例9例の栄養管理	飯干泰彦, 金浩敏, 坂口俊文, 宇野妙子, 西井拓人, 若林里絵, 北庄司敦久, 中原薫, 石井陽介, 出村公一, 宮崎安晃, 住井諭美, 位藤俊一, 千葉典子	第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会	口演	2019.2.14

(2) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	当院リハビリテーション部のNSTへの取り組み	一柳律子	第27回泉州地区NST研究会	2018.11.10
2	小児膿瘍形成性虫垂炎の保存的治療における栄養管理	飯干泰彦	第28回泉州地区NST研究会	2019.3.2

(3) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	特別講演	飯干泰彦	第27回泉州地区NST研究会	2018.11.10
2	一般演題	飯干泰彦	第28回泉州地区NST研究会	2019.3.2



平成31年度・令和元年度

(1) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	集中治療領域におけるRefeedingSyndromeの発生リスクと影響因子の探索	中川貴弘	第29回泉州地区NST研究会	2019.11.9